

(様式3)

公共事業再評価調査

番 号	道路—5	事業担当局課	泉区泉土木事務所		
事業名	県道瀬谷柏尾道路改良事業（相模新橋地区）		採択年度 平成 25 年度		
施工場所	泉区新橋町 1 3 8 8 番地先から 1 8 7 3 番地先まで		経過年数 5		
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>本事業箇所は、戸塚駅と三ツ境駅を結ぶバスが運行されている路線であり、一日の交通量も 10,000 台以上ある、泉区の主要な道路となっており、都市計画道路中田三ツ境線（計画幅員 11m）の一部となっています。</p> <p>本事業区間(約90m)は、新橋小学校の通学路として利用されていますが、一部(約50m)に狭小(約40cm)な片側のみの歩道しかなく、歩行者の通行が危険な状態になっています。</p> <p>通勤通学時間帯はバスの台数が多いため、バス停では慢性的に後続渋滞が発生しています。</p> <p>今回の事業箇所は安全な歩行者空間の確保や車両交通の円滑化を図るため、両側に歩道を設置し、併せてバスベイの整備を行うものです。</p> <p>事業概要</p> <p>計画延長 約 90m、標準幅員 11m（車道 7m・歩道 2.0m×2）＜現況 7m＞</p>				
			当 初(事業採択時)	変 更(平成 30 年度)	
	事業期間		平成 25 年度～平成 30 年度	平成 25 年度～平成 34 年度	
	事業費	合 計		112 百万円	193.8 百万円
		国 費		—	—
		市 費		112 百万円	193.8 百万円
	変更内容	<p>事業実施段階で詳細に検討した結果、補償費、用地費などが増額となり、事業費が増加しました。</p> <p>また、用地交渉に時間を要しており、事業に多くの時間を要しているため、事業期間を変更しました。</p>			
	上位計画等	<p>横浜市中期 4 か年計画（2018～2021）の政策 20「市民に身近な交通機能等の充実」の主な施策 2「歩行者の安全確保や地域の利便性の向上」としています。</p>			
	関連事業	—			
	事業の 必要性	<p>当該事業区間は通学路となっているが、一部(約50m)に狭小(約40cm)な片側のみの歩道しかなく、歩行者の安全性の確保に課題があり、地元やスクールゾーン協議会からも安全性の向上について要望されています。また、地元連合自治会から歩道設置の要望書（2474名の署名あり）が提出されており、早急な改善が必要となっています。</p>			

	事業の投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)	事業全体		残事業
		割引率	4% (2%)	
	総便益(B)	4. 1 億円 ( 6. 4 億円)	—	
	総費用(C)	2. 4 ( 2. 3)	—	
	費用便益比(B/C)	1. 7 ( 2. 7)	—	
	感度分析 [交通量-10%]	1. 1 ( 1. 8)	—	
	[定性的効果] 本事業区間は一部(約 50m)に狭小(約 40cm)な片側のみの歩道しかないため、歩道を設置することにより歩行者の安全が確保されます。 [その他特記事項]			

事業の進捗状況	事業進捗率%	平成 29 年度までの事業進捗は 26%、用地取得率は 8.5%になっています。平成 27 年度に一部用地を取得し平成 28 年度に歩道整備工事を行っています。今後は平成 32 年度までに用地買収を終了し、平成 34 年度までに工事を完了する予定です。
	26%	
	用地取得率%	
	8.5%	
	供用等の状況	
	未供用	
事業の課題及び進捗見込み	<p>本地区は現道拡幅であり、店舗や戸建て住宅が多く、買収に伴い建築工事が伴うため、用地取得に多くの時間を要しています。引き続き地権者との用地交渉を進め、平成 30 年度 1 件、平成 31 年度 2 件、平成 32 年度 2 件用地買収を行い、平成 34 年度までに工事を完成する予定です。</p>	
その他 (コスト削減項目等)	<p>工事施工においては、建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処理費のコスト削減を行うとともに、舗装・構造物の基礎等については、再生材や二次製品を使用する等可能な限りコスト削減に努める予定です。</p>	
その他	—	
添付資料	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	

対応方針 (案)	継 続	計画通り(上記計画を実施)※1
		一部見直し(上記計画を変更)※2
		【見直し内容】
中 止		

対応方針 (案) として 理由	<p>本事業箇所は、戸塚駅と三ツ境駅を結ぶバスが運行されている路線であり、一日の交通量も10,000台以上ある、泉区の主要な道路となっており、都市計画道路中田三ツ境線（計画幅員11m）の一部となっています。</p> <p>通勤通学時間帯はバスの台数が多いため、バス停では慢性的に後続渋滞が発生していること、通学路にもかかわらず、歩行者の安全の確保が十分でないことから早期の整備を望む声が市民から寄せられています。</p> <p>また、一部拡幅済みであることから、事業を継続する必要があると判断しています。</p>
-----------------------	--

※1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。

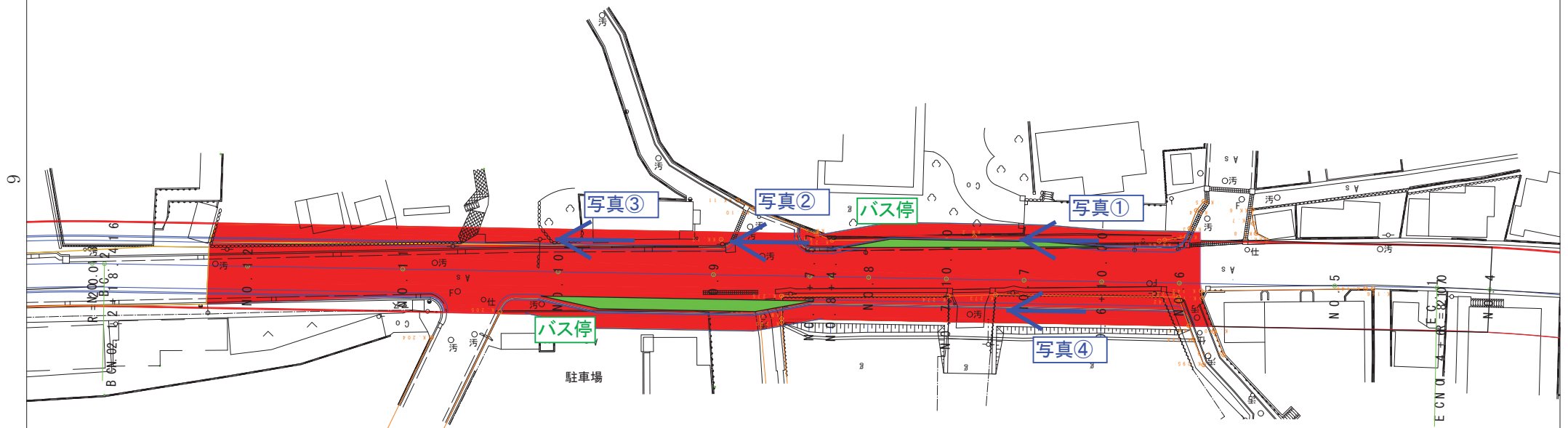
# 位置図



# 県道瀬谷柏尾道路改良事業（相模新橋地区）

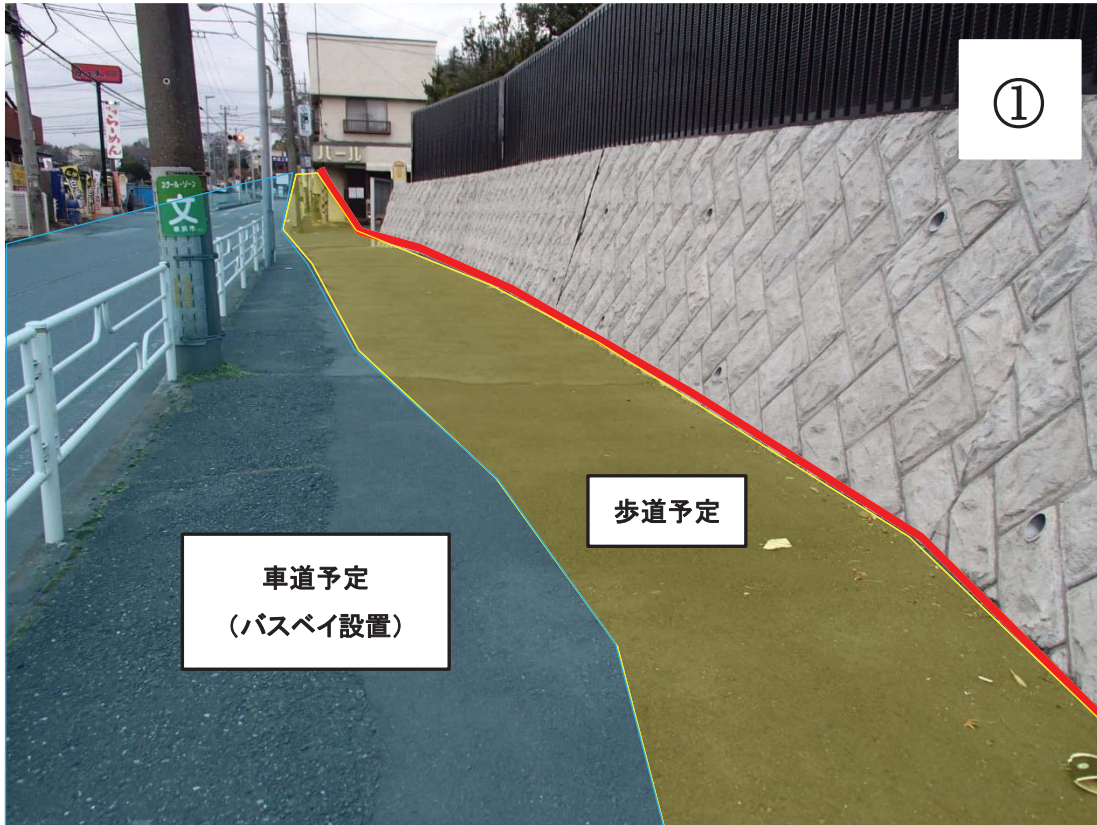


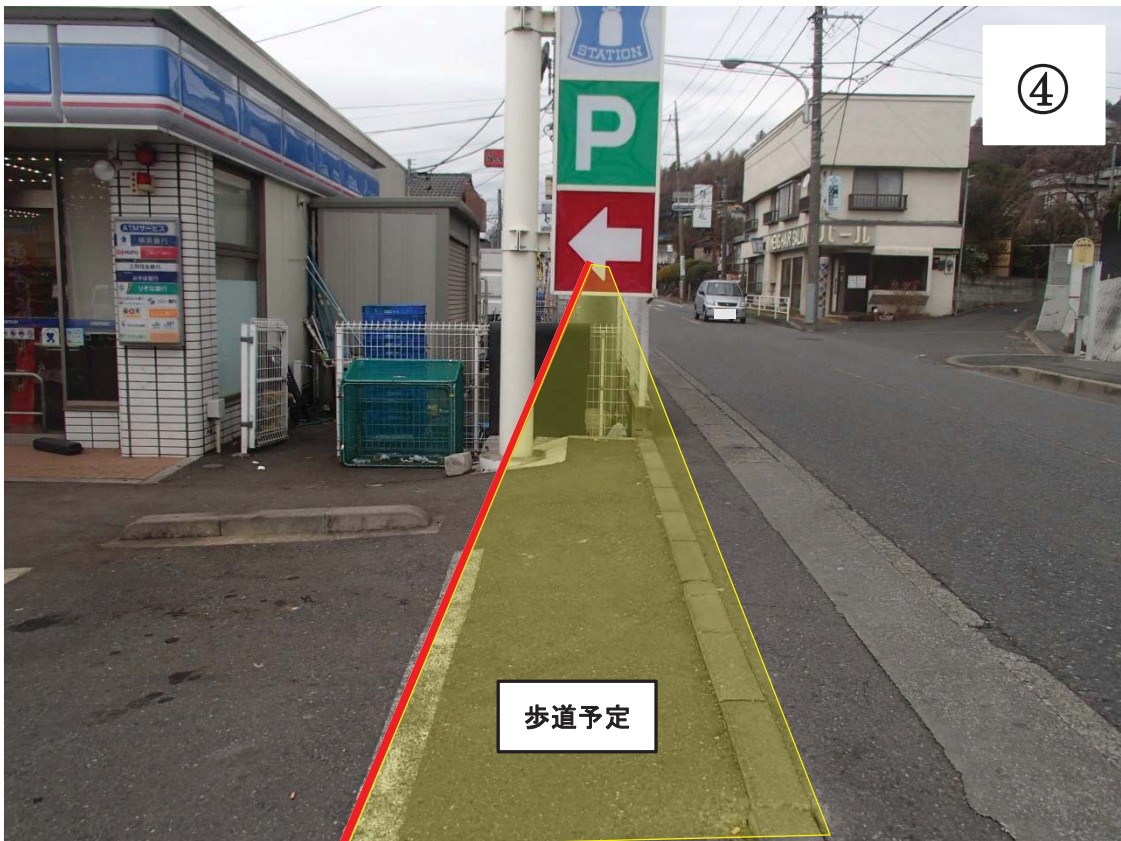
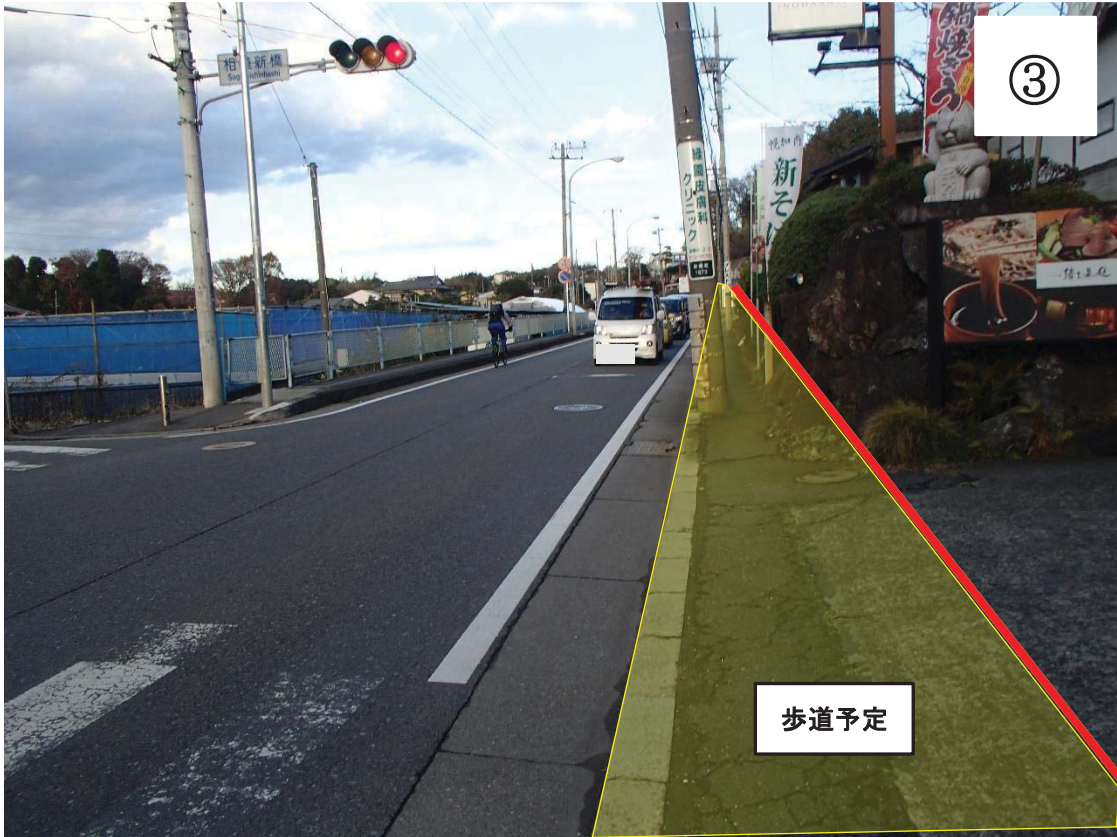
# 県道瀬谷柏尾（相模新橋地区）道路改良事業



凡例	
事業区間	
バスベイ設置予定箇所	

9







# 事業進捗状況

## 県道瀬谷柏尾（相模新橋地区）

（単位：百万円）

年度	単年度事業費			事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m <sup>2</sup> )	累計(m <sup>2</sup> )	用地取得率※3
H25	3	0	3	1.6%	0.0%	1.6%	0	0	0.0%
H26	4	0	4	3.6%	0.0%	3.6%	0	0	0.0%
H27	11	10	1	9.1%	5.2%	3.9%	39	39	8.5%
H28	28	0	28	23.4%	5.2%	18.2%	0	39	8.5%
H29	5	0	5	26.0%	5.2%	20.8%	0	39	8.5%
合計	50	10	40				39		

- ※1 事業進捗率（合計）は全体事業費（様式3参照）に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和
- ※2 事業進捗率（用地補償、工事委託）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合
- ※3 用地取得率は事業全体の取得面積（様式3参照）に占める各年度までの取得面積の割合

## 事業進捗状況 県道瀬谷柏尾（相模新橋地区）

